

石川県珠洲市 & 早稲田大学 地域連携ワークショップ^o 2021

地域連携ワークショップとは

まちづくり、地域ブランド、移住定住、観光・自治体が抱える課題の解決策を、学生チームが提案する実践型ワークショップです。学部・学年を超えて集まった学生同士が議論しながら仮説を立て、自治体関係者や住民の方々へのヒアリングなどを通して提案につなげます。地域の魅力を知り、課題を深く考え、仲間と協働することは成長の機会になります。

おススメのポイント！

- 地域に限らず、今後の新しい生活様式において不可避である「オンライン手法」を用いた課題解決プログラムです
- 世界農業遺産にも登録されている里山里海の活用例を地域住民から学ぶことができます
- 市長をはじめ住民の方々に、オンラインで直接インタビューする貴重な機会があります！

テーマ

20代から始めたくなるローカルキャリアとは？ ～能登半島のさいはてで考えるこれからの働き方～

珠洲市の最大の課題は、人口減少・少子高齢化です。なかでも高齢化率は約50%と全国でもトップクラス。若者や子どもが減り続けている主な要因の1つは、珠洲市で育った子どもたちの多くが高校卒業後に市外へ進学し、そのまま就職や結婚等により、珠洲市に戻らないケースが多いからです。しかし、未来に向けた希望もあります。珠洲市への移住者は20～30代の若者が多く、学生時代に珠洲市でフィールドワークをした若者がこのまちを気に入り、大学卒業後に移住した例もあります。

珠洲市には、大企業やショッピングモールなどはありませんが、豊かな里山里海があり、地域に根ざした伝統的な産業・文化や、人々が培ってきた暮らしの知恵や技が今も息づいています。移住者の中には、こうした今ある資源を活かし、ものづくり産業や観光業、農林業などで働いている人や創業して新たな仕事を生み出している人がいます。

そこで本ワークショップでは、珠洲市内で働く20代や、珠洲市出身で市外在住の20代へのオンラインインタビューなどを通じて（現地でのフィールドワークは実施しません）、これからの時代の働き方として、能登半島のさいはて・珠洲市でのローカルキャリア[※]の可能性について探究し・提示いただきます。


※ローカルキャリア：一般社団法人地域・人材共創機構によると「地域に関わりながら働くこと」ですが、本ワークショップでは、地域との関わり方の中でも特に、珠洲市のような地域に「暮らしながら」働くことを重視しています。

珠洲市の魅力

あなたは「珠洲」が読めますか？石川県の一番北、能登半島の最先端にある、人口約14,000人の本州で最も人口の少ない市です。世界農業遺産に認定されている豊かな里山里海の原因風景やキリコ祭り等の伝統文化を色濃く残しながらも、珠洲の魅力を実地で再発見する「奥能登国際芸術祭」など、先進的な取り組みにも積極的に挑戦する、なつかしくて新しいまちです。



募集概要 ※募集期間を延長しました (6/16 18:00)

募集期間	2021年6月7日(月)～ 6月21日(月) 12:00 6月18日(金) 17:00 [期間厳守]
募集対象	早稲田大学に所属する正規学部生・大学院生(修士課程)(学部、専攻、学年問わず)
活動期間	2021年7月7日(水)～2021年9月22日(水)
応募条件	全ての公式日程への参加が可能なこと
募集人数	5名程度
応募方法	<p>以下の手順もしくは右のQRコードのリンク先から申請してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① MyWASEDA にログイン ② お知らせ一覧から「地域連携ワークショップ 2021 夏編」を検索 ③ 「地域連携ワークショップ 2021 夏編応募フォーム」から「申請」をクリック ④ 必要事項(志望理由 400字程度)を入力して申請 
選考方法	<p>書類選考：結果通知は2021年6月29日(火) 17:00までにWasedaメールにて通知します。 ※オンライン面接を実施することがあります。その際は書類選考合格者に別途案内します。</p>
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> ① 当ワークショップは一般授業とは扱いが異なります。成績評価・単位認定等はありません。 ② オンラインでミーティングやインタビューを実施する際に必要な端末の購入費、通信費などは参加者による実費負担です。 ③ 募集要項に記載されている日程以外にも、自主的にミーティングやグループワークを実施する機会が多く、期間中は当ワークショップの活動が中心となるよう、スケジュール管理はくれぐれも注意してください。 ④ ワorkshop実施日と重複する集中科目等を欠席した場合、公欠扱いとはなりません。 ⑤ ワorkshop参加にあたっては「公共の場所では参加しない」「ヘッドセットなどを装着する」など、第三者に実習内容を知られることがないよう措置を講じてください。 ⑥ 選考結果に関する問い合わせにはお答えいたしかねます。あらかじめご了承ください。 ⑦ 【重要】当ワークショップに応募する場合、同時期に実施されるプロフェSSIONALS・ワークショップへの応募はできません。事前に各ワークショップの特色などをご確認の上、応募してください。 ⑧ 当ワークショップは、グローバルエデュケーションセンター実践型教育プログラム「地域連携実践コース」の対象プログラムです。
問合せ先	<p>教務部教育連携課 (rbso@list.waseda.jp) ※問い合わせの際には、件名のほか所属学部／研究科、学年、氏名を必ずメール本文に含めてください。</p>

実施の流れ ※当ワークショップは原則として、web 会議システム Zoom などを用いたオンラインによる実施となります。

- オリエンテーション：自治体の方から課題(テーマ)やその背景を聞く
 - ↓
 - 事前調査：
 - 課題に対する仮説設定。提案の方向性をまとめる。
 - どのような方にインタビューしたいのか、どのような質問をしたいのかリスト化
 - ↓
 - インタビュー：自治体関係者、地域住民へのオンラインインタビュー
 - ↓
 - 最終提案資料作成：
 - インタビュー結果を踏まえ、仮説を検証し、最終提案資料をまとめる
 - ↓
 - 最終報告会：自治体関係者、地域住民を前にプレゼンテーション
- 学生同士で時間を決め Zoom、SNS 等を用いて議論を進める

ワークショップスケジュール

①	オリエンテーション (Zoom)	2021年 7月7日(水) 13:30~15:30	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者顔合わせ ・自治体担当者からの説明 ・課題および課題設定に至った背景の説明 ・今後のスケジュール確認等 ・事前調査課題の説明
②	事前調査期間	7月8日(木)~ 7月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査を行い、課題に対する仮説を立てる ・現地のヒアリング希望先(個人、団体、企業など)を検討し、7月26日頃までに「ヒアリング希望先のリスト」を自治体に提出
③	ヒアリング準備	7月26日(月)~ 7月31日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・(自治体)ヒアリング先の調整 ・(学生)ヒアリング先への質問内容を検討 ※ヒアリング3日前までに「質問リスト」を自治体に提出
④	現地の方々への ヒアリング (Zoom)	8月中 ※8/9~8/16 除く	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査で検討した仮説に対する検証を行う ※ヒアリング先のご都合に応じて実施時間は流動的となります
⑤	市長懇談・ヒアリング (Zoom)	8月25日(水) 13:30~15:30 ※6/7更新	<ul style="list-style-type: none"> ・市長を囲んでの懇談、ヒアリング ※首長に直接お話を伺える貴重な機会ですので、出席できるように予定を調整してください。
⑥	中間報告会 (Zoom)	9月8日(水) 13:30~15:30 ※6/7更新	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー、懇談・ヒアリングをふまえた提案内容の報告 ・自治体担当者、大学関係者参加予定
⑦	最終報告会準備・ 追加調査期間	9月9日(木)~ 9月21日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・中間報告会でのフィードバック等をふまえた提案のブラッシュアップ ・提案の再検証(必要に応じて追加のヒアリングを実施)
⑧	最終報告会 (Zoom)	9月22日(水) 13:30~15:30 ※6/7更新	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体関係者、地域住民の方々に向けて提案を発表(約2時間) ※最終報告会終了後、学生と大学職員との振り返り会(1時間程度)を実施予定です。

※上記以外の日程は、必要に応じて参加学生同士で相談し、自主的に集まる日程やオンラインでの会議等のスケジュールを決め、ワークショップを進めていきます。